

## 叱るとき、気を付けること

家庭での日常生活において、親が子どもをほめたり叱ったりする場面があります。どちらが多いかと言えば叱るほうが多いでしょう。その叱り方によって、子どもが自分の良くない点を納得したり逆に反発したりします。親としては、叱るとき気を付けることを知っている必要があります。

では、どんな点に叱るとき注意をすればよいのでしょうか。

## ・簡潔に叱ること

子どもが良くないことをして叱る場合、同じことを繰り返してくどく言うことはいけません。

例えば、「勉強しなさい」ということを長々と言われたら、せっかく後で勉強しようと思っても反発して「そんなにお母さんが言うならやらないよ」ということになってしまいます。言葉では簡潔に言って、約束事などを子どもとしたほうが効果的です。

## ・ほかの子と比較して叱らない

よく家庭の中でも兄弟で比較して叱ることはないでしょうか。叱られたほうの子は「どうしておればかり叱られるんだ」という思いばかりが強くなり、悪いことをしたことを反省しようとは思いません。かえって、他のことに對する意欲

までも失ってしまう場合もあります。

## ・悪いことをしたら、その場で叱ること

人前で子どもが悪いことをした場合、恥しいので後で家に帰ってから「どうして、あんなことをしたの」と叱っても効果はあまりありません。なぜならば、子どもと大人とは過去の記憶がちがいます。子どものほうは時間がたつにつれてあいまいになってしまいます。ですから、その場で叱らないと何を叱られているのか子どものほうは十分に理解できない場合があります。



## ・感情的に叱らないこと

「こら、何をやってるんだ」などと怒りにまかせて、子どもを叱ったことはいけません。親のほうは、感情を発散できてすっきりするかもしれませんが、叱られた子どものほうは、ただ親が怖いだけ、やったことに対して考えてみるゆとりもなくなってしまうます。冷静さを失った叱り方もまたよくありません。

## ・自分自身の責任で叱ること

「後で、お父さんに言っって叱っ

てもらいますよ」などと他の人を持ち出して子どもを叱ったことはいけません。これでは、そのときはいいかもしれませんが、だんだんと成長するにじが自分では子どもが叱れなくなってしまうます。あくまでも、自分の責任において叱ることが大切です。

## ・何で叱っているのか、はっきりさせること

子どもになぜ叱られているのかをはっきりさせることは、最も大切なことです。親がしっかり悪いことのわけを説明し、わからせるようにしなければなりません。それによって、だんだんと叱られなくても自分で良いこと悪いことの判断ができるようになっていきます。それを理由を説明せず、子どもを納得させないで叱っているとした「おこられるからしない」というところでどまり、子どもの自立性が育っていかない場合もあります。

以上、六つの叱るときに気をつけることについて述べましたが、叱るとき親の態度も大事です。もし、子どもにいい加減な投げやりな態度で叱ったらどうでしょうか。「ぼくのことを思っていないな」と子どもは感じとります。親が子どもを叱る場合には、まず、真剣に何かを子どもに伝えようとすることが基本として必要ではないでしょうか。

平成8年度ボウリング  
ジュニアクラブ会員募集

都留市ジュニアボウリングクラブでは平成8年度の会員を募集しています。あなたも国民体育大会を目指して頑張ってみませんか。

日 時 毎週日曜日午前10時～正午  
場 所 都留ファミリーボウル  
月 謝 2500円  
対象者 高校生、中学生、小学生  
入会希望者は下記までご連絡ください。  
監督 佐々木 勉 ☎(43)0679  
都留ファミリーボウル ☎(43)2121

第2・第4土曜日は、  
文部省公認親子ボウリング教室&大会

時間 午前10時～正午  
参加費…500円(1人)貸靴代別  
対象者…小・中・高生の親子  
(子供のみの参加も可能)  
参加申込は都留ファミリーボウルまで

## 第8回わんぱく相撲つる場所開催

毎年春の恒例となりました小学生を対象とした『わんぱく相撲つる場所』が開催されます。この大会で優勝した小学校4・5・6年生は、6月に行われる山梨ブロック大会に出場、さらに勝ち進めば7月に両国国技館で行われる全国大会へ出場します。全国大会出場者は、相撲部屋に体験宿泊も経験出来ます。

日 時 4月21日  
受付開始 午前8時～  
場 所 谷村第一小学校体育館  
参加費 300円(昼食、保険込み)  
主 催 (社)都留青年会議所  
後 援 都留市・市教育委員会  
問合先 谷内茂浩 ☎(43)6017

